

横浜市立緑園東小学校 平成29年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

| 学校経営中期取組目標 | |
|---|--|
| (1)子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いに認め合う学校をつくります。 (2)子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていく子を育てます。 (3)教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4)学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校をつくります。 | |

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

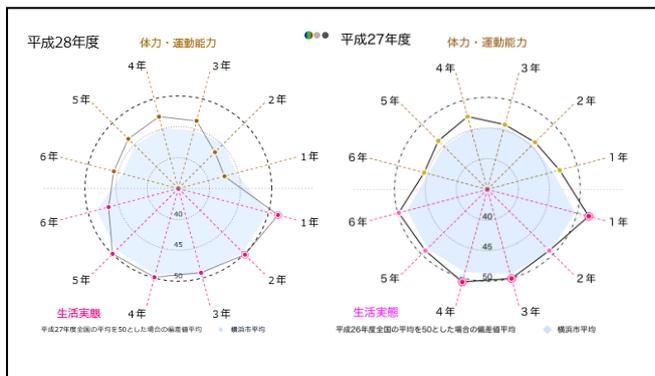
| 重点取組分野 | | 取組目標 | 具体的取組 |
|--------|----|---|--|
| 健やかな体 | | ・児童自身による健康的な生活に向けての取組を進め、児童の問題意識をもとに活動の充実を図ります。 | ①体力向上をめざし、児童自身の問題意識を生かした委員会主催の体力向上に取り組む。 ②学校の取組を自分の生活態度・生活習慣の形成に生かせるようにする。 ③体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。 ④学校生活全般を通して「食育」への意識を高める。 |
| | 担当 | | |

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・体力については、各学年男女とも多くの項目で全国平均や市平均を上回っている。
- ・朝食の摂取率が高く、95%以上の児童は毎日欠かさず食べている。
- ・保健に関する知識はあるが、日常の行動と結びついていない。
- ・地域行事への意欲的ではあるが、地域ではさらに参加してほしいと思っている。
- ・塾や習い事に通う子どもが多く、朝眠そうにしている子どもが多くみられる。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均と同等の記録が出ているが、**反復横跳び**、**長座体前屈**、**20mシャトルラン**については、下回る学年が多い。**柔軟性**や走る力については、**運動経験の少なさ**が影響していると思われる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科では自分のよさや可能性に気づくことができることを目標とし、子どもをやる気にさせる展開の工夫や慣れの運動の充実を考え、研修に努める。
- ・運動会では体育科で培った資質能力をさらに発展させ、演技や競技の練習に取り組み、自分の可能性に気づくことができるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、学習の充実をめざす。

道徳・特活・総合

- ・運動委員会では「大縄集会」「**体力アップ週間**」「マラソントime」「逃走中集会」を計画し、年間を通して、楽しみながら運動に取り組むことができる雰囲気をつくるようにする。
- ・学校保健委員会では、児童の実態にあったテーマを設定し、健康・安全に対する意識を高められるようにする。最近5年間は「ケガ0プロジェクト」をテーマに、様々な委員会がテーマに向けた取組を進めている。
- ・地区の体育的行事に、積極的に参加できるよう、学校でもそれに向けた声かけをする。

課外活動

- ・保健委員会による保健集会の取組
- ・集会での体力づくりの充実
- ・給食委員会による給食週間の取組
- ・休み時間での運動の奨励
- ・学校保健委員会の取組

平成29年度 緑園東小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 **自分の体と心を晴れやかにする体力づくり**

～PDCAサイクル・**ケガ0プロジェクト**を活用して～

《ねらい》 運動機会の確保、教員の指導力向上

《内容》 体育的行事を体育委員会（児童・生徒）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

（行事）前期：運動会、後期：なわとび大会、球技大会、マラソントime

- 1年 ・学校行事、集会に、前向きに取り組むことができるようにする。
・毎回の授業や行事のふり返りを、シールや色塗りのできるようにする。
- 2年 ・学校行事を前向きに取り組み、ルールを守って参加している。
・毎回のふり返りを60文字程度の文章に表して書くことができる。
- 3年 ・学校行事、集会に前向きに取り組み、めあてに沿いながら参加している。
・毎回の授業や行事のふり返りを、目的に沿って80文字程度で書くことができている。
- 4年 ・学校行事、集会に前向きに取り組み、めあてに沿いながら参加している。
・毎回の授業や行事のふり返りを、目的に沿って80文字程度で書くことができている。
- 5年 ・学校行事や集会を6年生のもとで協力してつくりだすことができる。
・毎回の授業を100文字程度でふり返り、自分にできることを考えることができる。
- 6年 ・学校行事や集会を自分たちでつくりだすことができる。
・毎回の授業のふり返りを次の授業や単元に生かし、友達にアドバイスできる。

● 指 標

- ①毎時間の授業のふり返り ②行事最中と行事後のふり返り ③生活実態調査から検証する。

各学年・教科等での取組の具体

| | |
|--|--|
| <p>1年</p> <p>○運動会や授業の簡単な振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったことや感想等 <p>○体育読本を活用した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認や教材研究等 <p>○けがOプロジェクトへの参加を促す。</p> | <p>2年</p> <p>○運動会や授業の感嘆な振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったことや感想等 <p>○体育読本を活用した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認や教材研究等 <p>○けがOプロジェクトへの参加を促す。</p> |
| <p>3年</p> <p>○運動会や授業の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてに沿いながら振り返り、友達からのアドバイス等も受け入れる。 <p>○体育読本を活用した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認や教材研究等 <p>○けがOプロジェクトを意識して生活を送れるように工夫する。</p> | <p>4年</p> <p>○運動会や授業の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを意識したふりかえり ・ふりかえりをいかしためあての設定 <p>○友達同士で見合う授業展開を多くする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスや感想などを伝え合う <p>○けがOプロジェクトを意識して生活を送れるように工夫する。</p> |
| <p>5年</p> <p>○毎時間の振り返りを通して、体力を高めるために行われる運動の必要性を自ら感じ取り、運動の楽しさを味わったり、体力の向上を図ったりする。</p> <p>○友達同士で「動き」を見合い、アドバイスをし合えるようにするために、「見る視点」明確にし、児童が使えるようにする。</p> <p>○高学年として中心となり、けがOプロジェクトに積極的に取り組むようにする。</p> | <p>6年</p> <p>○基礎的な体力の向上のために、毎時間の学習の中に慣れの運動として体づくり運動を入れる。</p> <p>○友達同士で「動き」を見合い、アドバイスをし合えるようにするために、「見る視点」明確にし、児童が使えるようにする。</p> <p>○高学年として中心となり、けがOプロジェクトに積極的に取り組むようにする。</p> |
| <p>個別</p> <p>○身だしなみや身のまわりの安全に気をつけ楽しく運動ができるようにする。</p> <p>○準備運動や整理運動を通して、姿勢と運動・動作の基本的技能を身につける。</p> <p>○日常的に走る運動を取り入れ、体力向上を図り併せて心の安定につながるようにする。</p> <p>○個別の支援計画に基づいて、個人の技能や意欲の向上を図る学習を展開するようにする。</p> <p>○休み時間「おにごっこ」や「長縄」「遊具遊び」などの体を動かす遊びで運動不足の解消を図る。</p> <p>○地域の体育的行事に進んで参加し地域の一員としての役割を担うようにする。</p> | |
| <p>保健</p> <p>けがOプロジェクトによる児童主体の健やかな体作りの取り組み 〈けがをしにくい心作り〉</p> <p>けがOプロジェクト5年目を迎え、今年度3年目のけがをしにくい心作りを継続する。テーマは、「気持ちを伝えて！けがOプロジェクト」とし、相手を尊重して伝える活動を実践する。</p> <p>〈第1回学校保健委員会〉</p> <p>昨年度の自分のいやな気持ちに気づいて伝える取り組みから、うまく伝えられたこと、伝えられなかったことを、出し合い、相手を尊重して伝えるための方法を学校カウンセラーのアドバイスを受けながら、考える。</p> | |
| <p>給食</p> <p>保健のけがOプロジェクトと共同して（けがをしにくい体作り）を目指して活動します。</p> <p>給食の残菜を減らす。好き嫌いなく食べようとする気持ちを育てること。</p> <p>また、体を健康にするために、骨髄メニューを児童に浸透させる。泉区地場産品の小松菜には、カルシウムがたっぷり含まれていることを知らせる。給食に積極的に取り入れる。</p> <p>健康を考えて食事をするにより心の健康も育てるように実践していきたい。</p> | |

